

長野の林業

令和3年3月10日発行
長野の林業編集委員会

No.374

もくじ



AG研修 需給マッチングシステム	1	
林業士認定授与式	2	
特集 中部森林技術交流発表	3	
普及事業70周年特集	4	
トピックス	緑化運動がはじまります / オンサテック社屋を長野県産材でDIY	6
お知らせ	緑の募金のお知らせ / 山火事予防	7
県森連だより		13
長野県の木材市況		14



木材流通の講義の様子



スマホアプリによる検知システムの体験実習の様子



北信木材センターの市場見学の様子

令和3年2月15日に「川上・川中・川下をつなぐスマート林業研修」が長野市穂保の北信木材センターにおいて開催され、当日はあいにくの荒天でしたが全県下から林務部職員30名が参加し、木材流通などの講義やスマホアプリによる木材検収システムの現地実習を体験しました。

当日は北信木材センター主催の「広葉樹祭り」を2日後に控え多彩な広葉樹の原木が集まっており、当センターの職員から広葉樹原木の見方のポイントなどを教えていただきました。

新たな長野県林業士に認定証書を授与しました

令和三年二月十六日に、塩尻市にある「長野県林業総合センター」において林業士認定証書授与式を開催し、新たに林業士として認められた六名に、林業総合センター春日嘉広所長が認定証書を授与しました。

林業士は、二年間の研修と審査を経て長野県が認定するもので、地域の山づくりを進めるリーダーとして様々な活動をされています。昭和三十八年に制度を発足させてから四十七年を迎え、今回の認定で林業士は五百五十二名となりました。



前列左から春日所長、菅原委員長 後列は新林業士の皆様

※式は新型コロナ対策をしたうえで実施しました。

認定審査に当たった菅原 聰審査委員長（信州大学名誉教授）から新たな林業士へ「同じ長野県でも、森林や森林との関わり方は地域によって大きく異なる。里山固有の自然を見て、文化を見て、その地域に合った林業に取り組んでほしい。」と激励の言葉をいただきました。

今回認定された六名の新たな林業士を含め、多くの

林業士がそれぞれの地域で、地域の山づくりの活動をしており、皆様にも林業士から地域の山づくりなどに関して、お声がかかる場面があるかもしれません。そんな時は、林業士と一緒に力を合わせ、豊かな森林の育成にご助力いただければ幸いです。

令和2年度に認定された長野県林業士の皆様



伊藤 行雄
辰野町



市川 満久
筑北村



萬代 泰和
白馬村



大石 学
白馬村



三水 宏章
小川村



清水 謙士郎
飯山市

【信州の木活用課】

令和二年度 中部森林技術交流発表会を開催

【中部森林管理局】

一月二十八日と二十九日の両日、「令和二年度中部森林技術交流発表会」を開催しました。

例年は、中部森林管理局の大会議室に、国有林や民有林の行政、教育・研究機関等、約二〇〇名が一堂に会して開催しますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中部森林管理局と各地の発表者をWeb会議システムで結ぶオンライン開催としました。

当日は、発表者に事前作成いただいた音声付きパワーポイントを再生し、その後審査委員と発表者がオンラインで質疑応答を行い、その一連の様子をWebでライブ配信しました。

当局としても初めて試みでしたが、多くの方々の協力を得て、民国合わせ二十一課題の発表がありました。

一日目の国有林の部（十六課題）からは、次の三課題を優秀賞に選定しました。



Web会議システムによるライブ配信

『軽量フレームを使用した

等圧コンクリート擁壁の開発』

伊那谷総合治山事業所

『D材（末木枝条）の継続的販売の取組について』

木曽森林管理署南木曽支署

『循環型林業確立に向けた

二ホンジカ対策モデルの検討』

愛知森林管理事務所

二日目の民有林・学生の部（五課題）の受賞者と受賞課題は次のとおりです。

◆民有林部門（森林・林業振興賞）

岐阜県立森林文化アカデミーの大島さんから、『岐阜県における林業用無人化技術開発の取組』として、人力作業が中心である造林・育林作業の機械化について、無人化も加えた導入試験の結果報告がありました。

岐阜県森林研究所の茂木さんと渡邊さんからは、『低コスト再造林を推進するためのヒノキ優良苗の育成方法』として、初期成長量が大きく育苗期間の短いヒノキコンテナ苗の育成方法の検討結果が発表され、それらの技術をまとめた指針書を作成し、技術移転が進んでいるとの報告がありました。

◆学生部門（奨励賞）

信州大学大学院の宮城さんからは、『南アルプス大規模雪崩跡地における高木性樹木の更新初期状態』として、雪崩跡地の樹木の更新に関する細やかなフィールド踏査の結果について報告がありました。

信州大学農学部宮島さんからは、『ドローンを利用した松くい虫被害木の半自動抽出』として、上田市武石鳥屋地区を上空からUAVで撮影し、被害木位置を半自動で抽出する機械学習の成果報告がありました。

下高井農林高等学校グリーンデザイン科の上埜さん、河野さん、赤池さんからは、『地域へ届け！ 私たちの思い』として、先輩から引き継いできた地域貢献の取組について、『木育』と『観光活性化』の活動報告がありました。

製材行程



下高井農林高校
～グリーンデザイン科の取組2020～

完成した屋台



地元材を生徒自ら製材し、地元保育園の遊具（屋台）を製作

※詳細につきましては、以下のQRコードを読み込んでください。



長野県林業普及指導事業70周年記念特集

令和2年に、長野県の林業普及指導事業は創設70周年を迎えました。そこで普及指導事業に関わられた方々から当事業のこれまでの歩みや今後の展望などについて寄稿していただきましたので2月号と3月号にわたり掲載させていただきます。

地域の自立した里山整備について

松本地域振興局 主任 古澤 宏章

林業普及指導員として初めて地域の方とつながりを持つことになったのは、安曇野市の清水地区です。令和元年に里山整備利用地域の認定を受け、森林づくり県民税を活用した事業で里山整備を行っています。

毎月一回の竹林整備を継続して行っているほか、安曇野市の「さとぶる。」と連携して様々な「つながり」を生み出しています。ただ竹林整備をこなすのではなく、作業のあとは、交流会を行い、地区の若者もベテランも子供もみんなが竹林整備に参加しています。

最近では、竹の有効活用する方法について研究を始めており、メンマやバンブーグリーンハウスなどの勉強を始めています。地域で出たものを有効に使う、産業を生み出す。そんな構想を立てているようです。



活動は、みんなで楽しく、無理なく行っています！



「さとぶる。」との連携により「つながり」が拡大中！

地域で自立した里山整備を行っていくためには、楽しみながら、無理の無い範囲で続けていくことに加えて、地域のみんなが主役になり、地域に何かを還元する。そんな仕組みを作ることが大切なのだと感じました。これからも「自立」ということをキーワードに林業普及指導事業を行っていききたいと思います。

林業普及指導員としての一日

上伊那地域振興局 担当係長 井原 由紀恵

朝事務所に着くと、メールのチェックから一日の仕事が始まる。

客体のみなさんが現場に出たしまう前にまず朝がけの電話を数本し、かかってきた電話に対応しつつ、慌ただしく現場へ出発。待ち合わせ場所に駆け込み、慌ただしくギヤーギヤーと打合せを行う。お昼をはさみ、今度こそはと落ち着いて始めるが、そのうちまたギヤーギヤーと打合せしている事に気づくが既に遅く、そのまま終了。事務所に戻ると数枚の着信の伝言メモがあり、電話をかけ、気付くとまたギヤーギヤー話している、そうこうしていると終業チャイムが鳴っている。

こうして一日が過ぎていきます。体力勝負の仕事とはいえ、しゃべり疲れて家に帰ると、その反動から家族へは、なんとも不愛想なしょっぱい対応となってしまう。

家族も大事にしつつ、普及の仕事は、人との関わりが大事ということ。肝に「ありがとう」と言ってもらえるような仕事をしていきたいです。



協議会の安全研修



保育園での木育活動

普及員は頼れるお兄さん

南信州地域振興局 主任森林経営専門技術員 保科 健

私が初めて県職員に採用され配属されたのは林産係で、常日頃から普及員の仕事を目の当りにし、地域の皆さんと対話をし、係内で理詰めの討論をし、催事の企画、森林計画の指導、林業関係者の指導と走り回っているのを見つつ、そんな普及員に「頼れるお兄さん集団」のイメージを持ち憧れていました。

平成十五年度の転属で初めて普及係になった頃、「○○さんが、最近の普及員は全然事務所に来てくれないと仰っていた。」と当時の主任SPの電話がありました。何も考えずに飛び出し、「言われて飛んできました！」と正直に話したところから私の普及業務はスタートしました。

その後、○○さん(素材生産のプロ集団の親方)に勧められて架線集材の現場へ行き、リードロープの仮設から索道の本架設、集材作業、終了後の撤去作業まで作業班の皆さんのお手伝いをしながら経験し、現場の方とのお話をしたことはとても刺激的でした。お邪魔するたびに缶コーヒーを人数分買い込み、休憩時にお出しして一緒に飲みながらいろんなことをお聞きしたのですが、その全てに理詰めで答えていただき、しかも「もう少しこうしたい」といったふり返りまでしていただくその姿に大人のカッコよさを感じたものです。その後様々な機会に恵まれ、お話をし、指導記録で振り返り、その記録を回覧して先輩に質問攻めに・・・そんな経験のおかげで今まで普及指導を続けてこられました。

普及に携わり十五年目が終わろうとする今ですが、地域に住む人への支援、地域の森林を管理する人への支援、森林経営管理制度と市町村実施体制の構築と、普及指導には大きな期待が寄せられていると思います。その役割を果たしつつ、二十代の頃に抱いた「頼れるお兄さん」に成れるよう・・・うん！今日も頑張ろう！

「今」と「未来」と

信州の木活用課 主任林業専門技術員 竹内 純

最近、林務部の先輩や林業関係者の方々から「林業普及指導員(以下AG(Agent))この頃元気ないね・・・」「現場で会うこと少なくなっただなあ・・・」といった声を頂くことが多くなった。

「今」現場では、何に悩み、何にやりがいを感じて普及指導を行っているのだろうか。そして本当に元気が無くなっているのだろうか。

私は佐久・諏訪・長野地区で林業普及指導業務に携わった。試行錯誤の毎日であったが、気持ちが高揚したのは、「自分の伝えたい事が相手に伝わった事(理解された事)がわかった時」であろうか。

令和二年度は全ての地域振興局に伺い、それぞれのAGと直接意見交換を行うことが出来た。けっして元気がないわけではない、また、森林所有者や林業関係者に対して積極的にコミュニケーションを取り、アドバイスをすべく、日々奔走している事もわかった。ただ、事務量の増大・煩雑化等から、林業普及指導に取組みにくい状況であることも事実であった。

「未来」はどうか。森林経営管理制度により放置されていた森林の整備や、脱炭素社会に向けての森林資源の有効利用が増々重要視される一方で、テレワーク等の普及により、自然の傍らでの生活を求める人の流れが加速され、森林に対する新しい価値観が評価される。そして、奥山から里山まで多くの方々からのAGに対する求められ度が増していくに違いない。

脈々と受け継がれてきた先輩諸氏からの教えと、新たな技術を融合し活動に生かす事ができるAGを育て、その能力を十分に発揮できる体制を整えること、このことが、「未来」に向かって「今」必要であると強く感じている。



令和3年度緑化運動がはじまります。

4月1日から5月31日は『緑化推進特別強調期間』です。
緑の募金活動や緑化活動などの実施について、ご協力をお願いします。

4月以降、春の芽吹きが進みます。皆さんも家庭や職場の緑化や身近な山や森林に足を運んでいただき、緑とふれあってみませんか。

○ 緑化運動の取組など

県では、「ふるさとの森づくり県民の集い」（県植樹祭）を6月5日（土）に下水内郡栄村の「さかえ倶楽部スキー場」で開催する予定です。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合があります。

緑の募金活動によりご協力いただいた「緑の募金」は、多くの「人と緑」をつなげる活動に役立てられています。【長野県 林務部 森林づくり推進課】



植樹の様子（R元年度植樹祭）



募金活動の様子

DIYで事務所を”森”に

令和3年1月、長野市若里に県産材を活用しリノベーションされた事務所（オンサイトック株式会社）が完成しました。

「長野県の木を使い、事務所の中に森をつくりたい」との社長の強い意向で、事務デスク、応接セットからブラインドに至るまで、社長とその協力者がDIYによって整備しました。

森を意識されたことから、事務所内にあるプランターにも様々な樹木を植栽するこだわりも。

事務所を訪れる方々に、社長は、にこやかに「頭の中で思い描いたイメージを、あてずっぽう（当てて寸法を測る）で創った」と話しをされています。

長野県では、あたり前に木のある空間づくりをお手伝いしようと、多くの方が訪れる事務所や店舗等を県産材で内装木質化する費用の一部を支援しています。

リノベーションや新築の計画がありましたら、お気軽にお近くの地域振興局林務課までお問い合わせください。

（事業のHP：https://www.pref.naganano.jp/mokuzai/kidukai_top.html）

【県産材利用推進室】



“あてずっぽう”で制作された調度品



雨戸（戸袋）をイメージしたブラインド



新刊絵本発売のお知らせ

公益財団法人長野県緑の基金が贈る

木が伝えてくれる物語 8

南信州の大自然の中で、出会ったものは…

森のくまさん

「森のくまさん」

待望の第3弾!

最新刊

南信州へゆく

絵・文 藤岡牧夫

「アッ! ワーッ! エーッ! キャーッ!」
森のくまさんと子どもたちの声が響きます。
南信州の大自然の中には、いつだって
ドキドキ、ワクワクがいっぱいです!



木が伝えてくれる物語シリーズ 既刊本



木が伝えてくれる物語 6
「森のくまさん」〈千曲川〉

木が伝えてくれる物語 7
「森のくまさん」木曾物語

絵本作家自ら森の中を歩き、取材して紡ぎだされた物語。
森のくまさんと子どもたちの体験やいろいろな出会いを
通して、子どもたちの心に命を育む森林の大切さや
思いやりの愛の芽が生まれますように—



本書の売り上げの一部は「緑の基金」を通じて
森林づくりや子どもたちの環境教育に役立てられます。

● 企画・出版 公益財団法人 長野県緑の基金

☆ 令和3年3月25日発刊予定です! お楽しみに ☆

春の山火事予防にご協力ください!!

春は特に空気が乾燥し、強い風が吹くことから
山火事が起こりやすい時期です。

長野県では、1年間に発生する山火事の半数以上が春先の3月から5月に発生しています。山火事は消火が難しく、広範囲に被害が及ぶ危険性が高い火災です。原因の多くは「火の取扱いの不注意」です。一番の予防策は一人ひとりの『山火事を発生させない!』という心がけです。

本年は、雪不足の影響から、火災が発生しやすい条件となっています。「あなたです 森を火事から守るのは」。大切な森林を守るため、屋外での火の取扱いに十分ご注意ください。

【森林づくり推進課】



令和2年5月に発生した林野火災



山火事予防パトロール



長野県労働局長登録教習機関 長野県知事認定職業能力開発校

一般社団法人 中部労働技能教習センター

労働安全衛生法に基づく資格取得講習を実施しています

充実した施設、充実した講習

47年の歴史と29万人の実績

中部労働技能教習センターは、昭和49年の設立以来、常設の多目的教習機関としてクレーン及び移動式クレーンの実技教習並びに車両系建設機械、小型移動式クレーン、フォークリフトなど、各種技能講習および特別教育の資格取得講習を実施しています。受講しやすいきめ細かな年間計画により、どなたでも運転資格等が取得できるように、経験豊かな講師陣がお待ちしております。

当センターで取得できる主な資格

実技教習（免許教習）

- ・クレーン・デリック運転士免許
- ・移動式クレーン運転士免許

技能講習

- ・車両系建設機械（整地等）運転
- ・車両系建設機械（解体用）運転
- ・車両系建設機械（基礎工事用）運転
- ・不整地運搬車運転
- ・高所作業車運転
- ・小型移動式クレーン運転
- ・床上操作式クレーン運転
- ・玉掛け
- ・フォークリフト運転
- ・ショベルローダー等運転
- ・はい作業主任者

特別教育

- ・クレーン運転
- ・小型車両系建設機械（整地等）運転
- ・ローラー運転
- ・高所作業車運転
- ・フォークリフト運転
- ・巻上げ機（ウインチ）運転
- ・ロープ高所作業
- ・フルハーネス型墜落制止用器具



< 長野県下、4会場で講習を実施しています >

※実施会場が限られている種目があります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

飯田会場 / 〒395-0154 長野県飯田市下殿岡478-1
 (本部) <https://www.ginosenta.or.jp>
 E-mail: info@ginosenta.or.jp

☎ 0265-25-4444 FAX 0265-25-4455

中部労働技能教習センター



長野会場 / 〒381-1225 長野市松代町東寺尾2681-3
 松本会場 / 〒390-0851 松本市大字島内(小宮)729-1
 佐久会場 / 〒385-0032 佐久市常和1353-1-13

FAX 026-278-9255
 FAX 0263-47-4443
 FAX 0267-78-3935

Webサイト



私達も緑化推進運動に協力しています。



未来へと育てる緑 希望の芽 令和3年度 育樹運動標語

一般社団法人

長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 水本 豪
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 宮 宣敏

長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦 副会長 林 和弘
代表理事専務 高田 幸生 常務理事 櫻井 肇

長野県林業団体協議会

会長 高田 幸生 副会長 藤原 忠彦
副会長 宮崎 正毅 副会長 水本 豪

長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 宮野尾 宏
副理事長 佐原 良彦 副理事長 新井 藤弘
副理事長 都築 透 専務理事 小島 和夫
副理事長 麥島 照幸 事務局長 松本 寿弘

林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 幹事長 小島 和夫
副支部長 高田 幸生 事務局長 阿部 勝彦

信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅
副理事長 高田 幸生 専務理事 小島 和夫
副理事長 鈴木 吉明 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 山口 勝也

「森林・林業の総合アドバイザー」

一般社団法人

長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役員一同

長野県森林組合長会

会長 林 和弘

長野県山林種苗 協同組合

理事長 富澤 修一

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター 長野水源林整備事務所

所長 春原 武志
長野県水源林造林協議会
会長 白鳥 孝

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県林業 薬剤防除協会

会長 牧 司

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン長野

代表取締役社長 田中 高德
代表取締役専務 室賀 秀樹

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遙



ふるさとの かがやく緑 いつまでも

令和3年度
国土緑化運動標語

佐久森林林業振興会

役職員一同

上小 林業振興会

会 長 羽田 健一郎 役職員一同

諏訪地域^{もり}森林づくり ・林業振興会

役職員一同

上伊那山林協会

役職員一同

下伊那山林協会

役職員一同

木曾山林協会

会 長 貴 舟 豊 役職員一同

松本地域森林林業振興会

役職員一同

長野地方緑化推進委員会

会 長 染野 隆嗣 役職員一同

長野国有林森林整備協会

会 長 由井 正隆
副 会 長 林 和弘
専務理事 酒井 省三

長野市大字稲葉字母袋沖 612-2 ☎026-285-9070

日本林業土木株式会社

長野出張所 所 長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185



みどり産業株式会社

代表取締役社長 洞 和雄

本社 長野市稲葉2413-3 ☎026-224-8708

カラ松日本一を目指します

東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛 4747

信濃化学工業株式会社

代表取締役社長 小野 大輔

長野市桐原 1-2-12

瑞穂木材株式会社

代表取締役 宮崎 正毅

下高井郡木島平穂高 3228-1

有限会社 高遠興産

代表取締役 林 敏行

伊那市山寺 1558-1

平澤林産有限会社

代表取締役 平澤 照雄

伊那市西春近 4105



私達も緑化推進運動に協力しています。



未来へと育てる緑 希望の芽

令和3年度
育樹運動標語

南安曇木材協同組合

組合理事長 佐原 良彦
安曇野市穂高 7940 番地 27

齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤 健
小県郡長和町古町 4294

株式会社飯田総合木材センター

代表取締役 松下 勝彦
飯田市鼎切石 4367

(株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支店長 長谷川 洋
長野市大字稲葉中千田沖 2040-2 ☎026-224-8710



一般社団法人

日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井 章次郎
長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-217-2660

有限会社 大井木材

代表取締役 大井 翔太
木曾郡上松町緑町 2-10-2

株式会社 吉 本

代表取締役 由井 正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林 121

王滝林業有限会社

取締役社長 西路 明
木曾郡王滝村 4563-2

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 勝
組合長

レストラン 四季の味 樹木里

南佐久南部森林組合

代表理事 藤原 忠彦
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫
組合長

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭
組合長

信州の木認証合板で
地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

(本 社) 06-6228-1401
(北陸営業所) 0767-52-4376

ホームページアドレス <http://www.daietsuy.co.jp>
松本市波田二九五一一三七
☎(〇二六三) 九二一五〇五一
FAX(〇二六三) 九二一五八〇九

大栄産業株式会社

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作



ふるさとの かがやく緑 いつまでも

令和3年度
国土緑化運動標語

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事 倉沢 明人 役職員一同
組合長

諏訪森林組合

代表理事 藤森 良隆 役職員一同
組合長

 もりもり上伊那

上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝 役職員一同
組合長



飯伊森林組合

代表理事 林 和弘 代表理事 吉澤 悦史
組合長 常務 役職員一同

和合森林林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同
組合長 下伊那郡根羽村 407-10

木曽南部森林組合

代表理事 坂家 重吉 役職員一同
組合長

木曽森林組合

代表理事 神村 光雄 役職員一同
組合長

松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男 役職員一同
組合長

南木曽町森林組合

代表理事 藤原 和年 役職員一同
組合長

大北森林組合

代表理事 西澤 清
大町市大字平 10788-1

長野森林組合

代表理事 村石 正郎 役職員一同
組合長

北信州森林組合

代表理事 清水 侃 役職員一同
組合長

栄村森林組合

代表理事 櫻沢 俊一 役職員一同
組合長

長野の林業は誌面の充実を図るため令和3年度から隔月発行となります

- ・発行月 5月 7月 9月 11月 1月 3月の奇数月発行
- ・ページ数 12ページ～18ページ ・表紙をカラー化
- ・長野県HP、長野県森林組合連合会HPにカラー版をリンク

令和3年度 長野県森連 通常総会開催

令和3年2月26日、長野県林業センタービル（長野市）で、長野県森林組合連合会の第84回通常総会が開催されました。昨年に引き続き、今回も新型コロナウイルス感染症対策として、会場入室時の検温と手指の消毒、出席者全員のマスクの着用等を徹底した上での開催となりました。

当日は、森林組合綱領の唱和、林副会長の開会に続き、藤原会長による挨拶が行われました。議事は、南佐久中部森林組合の黒澤和夫代表理事を議長に、第1号議案・令和2年度事業報告等から、第9号議案・役員退任慰労金の贈呈について審議の上、原案どおり承認・決定されました。また、本年は任期満了に伴う役員選挙が行われ、10名の理事と3名の監事が当選しました。

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルスに翻弄された一年となり、県森連でも検温や消毒、テレワークの実施等対策を行いました。森林組合におけるコンプライアンスやガバナンスの向上に資するよう4年間実施してきた森林組合改善支援事業の総括を行いました。また状況の変動が大きかった販売事業の年間取扱量は24万8千³m、取扱高は24億9千万円となりました。さらに新たな事業として、ドローンを活用した測量・解析の支援に取組んだほか、木材流通関係システムの見直しを進めました。

令和3年度事業計画

本年は4月に森林組合法が改正・施行されます。また、新たな森林組合系統運動の方針が決定されます。県森連としては、こうした新しい動きに注目しながら、研修会等での情報提供をいたします。システム改良等による業務の効率化に努め、会員への経済的還元を図ります。感染症拡大の影響は今後しばらく続くものと思われませんが、適時適切な対応に努めてまいります。ご協力をお願い申し上げます。

新役員紹介



会長挨拶



会場の様子



系統利用
優良森林組合

【木材販売事業】長野・松本広域・上伊那・北信州
【購買事業】松本広域・信州上小・長野・飯伊・佐久・大北

2月19日
QGIS研修会

（造林協会共催）
【安曇野市・もくりゅう館】

初心者を対象に、QGISの概要と森林経営管理制度における活用方法を学んだ後、データの整理・加工方法、図面作成等の演習を行いました。



2月15日

川上・川中・川下をつなぐ
スマート林業研修（講師派遣）
【長野市・北信木材センター】

各地域振興局林務課の林業普及指導員対象の研修会に講師として参加しました。当会の販売事業の概要、ドローンやスマホ検知システムの活用について説明を行いました。



2月5日

森林組合監事研修会
【安曇野市・もくりゅう館】

今回は感染症防止の観点から、オンラインと会場での同時開催しました。各森林組合の初任監事を中心に14名が参加し、監事の役割から監事監査の実務について研修を行いました。



2月に開催した
研修会です

県森連 HP は
こちらから！



長野県森連

長野県の木材市況

令和三年三月十日発行 長野の林業通巻三七四号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
(一社)長野県林業普及協会
(一社)長野県林業センター

電話〇二六(二二六)五六二〇 Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp
電話〇二六(二二七)五〇一五 Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

第1051回 市況表

(令和3年2月17日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	14,000	12,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	16,000	13,000	
		直	24~30	15,000	12,000	
ひのき	4.0	直	14~16	14,000	12,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	15,000	13,000	
		直	24~30	17,300	14,000	
すざ	3.0	直	14~16	10,000	6,000	相談ください。
		直	18~22	8,000	7,000	
		込	20上	12,000	10,000	
すざ	4.0	直	24~28	13,000	10,000	需要あり。(φ24~38cm)直造材でお願いします。
		直	30上	14,000	10,000	
		込	20上	14,000	13,500	
さくら	5.6	直	54	146,000		良材に高値。需要あり。
なら	4.0	込	14~52	20,000	12,000	
くり	4.0	直	18~34	55,000	18,000	
あま	2.8	直	50	28,000		需要あり。良材に限り高値。
あま	4.0	直	18~38	14,000	10,000	
あま	4.0	込	20上	14,000	13,500	保合を維持。

出品量 1,483㎡ 販売量 1,436㎡ 落札率 96.8% 買い方 35社

出品にご協力していただきありがとうございました。今回の市売りでは、さくらの大径材に高値が付く、広葉樹は全般的に応札活発な状態が続いております。針葉樹は特に(杉、赤松、からまつ)に需要がありますので引き続き出品にご協力をお願いします。出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。
(*安全のため荷下ろし、積み込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくをお願いします。)

第1053回 市況表

(令和3年2月16日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すざ	3.0	直	16~18	11,000	7,000	価格横ばい。荷動きあり。
		直	20~28	12,000	9,000	
ひのき	4.0	直	30上	15,000	10,000	柱、土台取り安定した需要。 30上直材引き合いあり。 高齢級材に高値。
		直	20上	17,000	12,000	
		直	18~28	17,000	13,000	
ひのき	4.0	直	30上	21,000	14,000	30上直材引き合いあり。 高齢級材に高値。
		直	18~28	17,000	13,000	
		直	32~80	280,000~		
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	価格横ばい。合板・土木向け細物荷動きあり。
		直	14~18	12,000	9,000	
		直	20上	14,500	13,000	
		曲	14~18	11,000	9,000	
からまつ	4.0	曲	20~40	12,000	11,000	需要期、引き合いあり。良材に高値。
		曲	20~40	12,000	11,000	
あま	2.0~10.0	込	26~68	96,000	10,000	需要期、引き合いあり。良材に高値。
くり	2.0~7.0	込	20~62	30,000	18,300	
くり	2.0~5.0	込	20~38	39,000	20,300	
やぎ	2.0~4.6	一本	20~72	121,000	31,000	良材に高値。
さくら	2.0~4.6	一本	20~34	39,000	19,300	応札活発。
なら	2.0~6.4	込	20~58	44,400	15,000	
いちい	4.6	本一	36	61,000		

出品量 4,034㎡ 販売量 3,741㎡ 落札率 92.7% 買い方 38社

今回も多数のご出荷ありがとうございました。ヒノキやアカマツ、スギの大径材に高値が付く、ウヤキ・クリ・クルミ・ナラ・さくら等広葉樹の良材にも高値が付く、大変盛況な市売となりました。広葉樹につきましては中値も上昇傾向にあり、引き合いが活発です。針葉樹並材も細物~中目まで各径級不足感がありますので、伐採の計画がありましたらご相談ください。また、次々回(3/25)は広葉樹祭りとなり、良材の期待感が高まっております。ぜひとも出品のご協力の程よろしくお願いたします。

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1085回 市況表 広葉樹祭り

(令和3年2月17日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すざ	3.0	直	16~18	12,000	8,000	
		直	20上	13,000	10,000	
		直	20上	13,000	10,000	
すざ	4.0	込	8~13	5,500	4,500	
		直	14~20	12,500	9,000	
		直	22~28	13,500	10,000	
すざ	4.0	直	30上	14,000	11,000	需要あり 出品願います。 需要あり 出品願います。
		直	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	9,000	7,000	
からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000	合板需要あり。 杭材需要あり。
		直	14~18	12,000	9,000	
		直	20上	16,000	14,000	
からまつ	4.0	曲	14~18	8,000	6,000	需要あり 出品願います。 需要あり 合板需要あり
		曲	20上	14,000	13,000	
		直	18~30	18,000	14,000	
からまつ	4.0	直	64	120,000		良材に高値
黒がき	2.0	曲	36	38,000		1本売り
いちい	2.0	直	66	55,000		良材に高値
あま	3.0	曲	46	50,000		
なら	4.8	直	54	50,000		
とうひ	1.8	曲	38	45,000		
くり	6.0	曲	36	45,000		

出品量 4,643㎡ 販売量 4,052㎡ 落札率 87.2% 買い方 44社

今回、【広葉樹祭り】ということで出荷者の皆様に、貴重な広葉樹を出荷していただき感謝申し上げます。多くの買い方に御来場いただき、カッラの良材をはじめ、クリ、ナラ、ホオ、また、黒がきなど高値で取引させていただきました。ありがとうございます。
広葉樹は需要旺盛で推移しておりますので今後も良材、並材ともに高値取引ができるよう努めてまいります。
針葉樹も、スギ、カラマツ共に需要旺盛であり、供給が間に合わない状況です。引き続き出荷の程よろしくお願致します。
【お願】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の)納品書の提出をお願いします。

第532回 木材共販市況表

(令和3年2月18日実施)



出品量 1,260㎡・買い方 15社・落札率 98.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	直	14	13,000	12,000	3,360	
		元直	16	15,000	14,000	3,920	
		込	18~24	16,000	15,000	4,200	
		込	26~28	12,000	10,500	2,940	
		込	30上	35,000	18,500	5,180	
		中込	16~22	12,000	11,000	3,080	
		込	24~28	13,500	10,000	2,800	
		込	30上			0	
		元直	16~22	17,500	15,000	4,200	
		元直	24~28	25,500	20,000	5,600	
すざ	4.0	直	30上	45,000	31,500	8,820	
		直	40~	180,000	80,000	22,400	
		中直	12~14	13,000	9,500	2,660	
		込	16~22	16,000	15,000	4,200	
		込	24~28	19,000	16,000	4,480	
		込	12下	360	300		
すざ	3.0	直	18~22	10,500	8,000	2,240	
		直	24~32	10,000	8,000	2,240	
すざ	4.0	込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20~22	10,500	8,000	2,240	
		込直	24~28	12,500	11,500	3,220	
すざ	3.0	直	30上	16,500	13,500	3,780	
		直	14~22	4,500	4,000	1,120	
からまつ	4.0	込	12~14	6,000	5,500	1,540	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
		込	18~28	12,500	11,500	3,220	
		直	30上	13,500	11,500	3,220	
		小曲	14~30	6,000	4,000	1,120	
		直	12下	320	270		
くり	4.0	直	20~36	33,500	25,500	7,140	一本売り
もみ	4.0	直	32~58	12,500	10,000	2,800	

総評

ひのきは出荷増加、応札活発価格はやや上昇。
すざも出荷増加引き続き引き合い強く価格はやや上昇。
からまつ不足気味引き合いあり価格はやや上昇。
引き続き出荷の協力をよろしくお願いたします。